

令和4年度（2022年度）公共事業事後評価調書（試行）

（様式2）

調書番号	06-01	所管部	農政部	基準年月日	令和4年8月1日
				作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長 岩田 正敏
				担当係	水田整備係（内）27-568

I 基本事項

事業種別	道営土地改良事業費 （農地整備事業（経営体育成型））	地区名	沼西	市町村名	沼田町、北竜町
------	-------------------------------	-----	----	------	---------

事業目的・目標

当事業は、「北海道農業農村整備推進方針」に定めている「安全・安心な食の生産をささえる」、「多様な担い手と地域をささえる」、「多様な生物との共生や美しい景観をささえる」という重点化する整備方針に沿って行われるものであり、本地域の将来の農業生産を担う経営体を育成するため、区画整理、農業用水路、暗きょ排水の整備を実施し、生産性を向上させコストを低減し、農業所得の向上を目指すとともに担い手への農地の面的集積を図る。

事業概要

良質米を生産するため、安定した用水供給や適切な深水かんがい等の水管理に対応できる農業用水施設の整備を行う。また、区画整理により現況40a程度の区画を1ha程度の規模へ大区画化し、併せて排水改良のために暗渠排水など総合整備を行う。

事業採択	完了	区分	工事費内訳 (百万円)	変更理由・内容	費用対効果 (百万円)			
					便益	費用	B/C	
H22 (2010)	H27 (2015)	事前 H20 (2008)	○受益面積 426ha ○受益戸数 91戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 221ha ・用水路 L=6,961m ・暗渠排水 A= 205ha	1,111 764 416	/	便益	5,712	●「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」（農林水産省H19改正）に基づき算出 ●算定年度はH20年度
			費用			3,499		
計			2,291		B/C	1.63		
H22 (2010)	H27 (2015)	採択 H22 (2010)	○受益面積 899ha ○受益戸数 99戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 383ha ・用水路 L=9,854m ・暗渠排水 A= 156ha	1,351 1,528 291	●区画整理について、深水かんがいに对应できるように畦畔築立の要望があり、暗渠排水から区画整理に移行したことによる事業量・事業費の増 ●用水路について、畑作物を作付けした際に漏水が判明したことによる事業量・事業費の増	便益	10,566	●「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」（農林水産省H19改正）に基づき算出 ●算定年度はH21年度
			費用			7,373		
計			3,170		B/C	1.43		
H22 (2010)	R1 (2019)	完了 R1 (2019)	○受益面積 952ha ○受益戸数 95戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 427ha ・用水路 L=12,016m ・暗渠排水 A= 92ha	1,675 2,666 173	●区画整理について、深水かんがいに对应できるように畦畔築立の要望があり、暗渠排水から区画整理に移行したことによる事業量・事業費の増 ●用水路について、畑作物を作付けした際に漏水が判明したことによる事業量・事業費の増 ●その他、資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増 ●未相続地処理及び河川協議に時間を要したことによる事業期間延伸	便益	/	/
			費用			/		
計			4,514		B/C	/		

II 効果の発現状況

1. 整備後の効果発現

●整備前の課題

- ・用排水施設の老朽化により、維持管理に多大な労力を要している。
- ・小区画や排水不良により、生産性の向上や生産コストの低減に支障を来している。



用水路からの漏水状況

整備前の小区画ほ場



基盤整備

●整備後の改善

- ・用排水施設の整備により、水管理の省力化や維持管理労力の軽減が図られた。
- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性が向上した。
- ・担い手農地利用集積率が86.9%（事業実施前）から98.4%（事業完了後）に向上した。



パイプライン化後の用水路

整備後の大区画ほ場



2. 整備施設の管理 ・利用者等への意見聴取

●整備施設の維持管理状況

・整備前は管理用道路が無く用排兼用水路であり維持管理に苦慮していたが、用水路を分離しパイプライン化したことで、除塵作業が減少し水管理が容易となった。
また、管上に管理用道路を新設したことで維持監理の巡回作業効率が向上し、沼田町土地改良区により適切に管理されている。



(農業用水管理作業状況)



(巡回車による維持管理状況)

●効果発現に関する利用者等への意見聴取

整備による事業効果について、農家（6名）や沼田町建設課へ聞き取りを行った結果、次のような意見があった。
・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的に適期の作業が可能になった。
・大型機械の導入が可能となり、省力化が図られた。
・区画整理の整備によるほ場の大型化及び畦畔築立により貯水機能が向上し、令和元年8月に発生した大雨（99mm/日）においても、農地や家屋の浸水被害が発生しておらず、地域の安全・安心が図られている。

3. 整備における 環境等の影響

●自然環境の影響

・施工にあたり、低振動・低騒音の作業機械を使用するとともに、雨天時は休工するなど濁水の流出を防止し、環境に配慮した施工を行うことで、自然環境への影響は最小限に抑えられている。

●環境保全措置の効果等

・耕作条件の改善により担い手が確保され、耕作放棄地発生防止に寄与し、美しい農村景観が維持。

●その他の影響（生活環境等）

・排水路等の整備によりほ場の湿害が改善され、高品質かつ多彩な作物の生産が可能となっており、直売所への出荷が盛んとなっている。

Ⅲ 「効果の発現状況」を踏まえた同種事業に今後活用すべき事項

・農業普及センターとの連携や期成会の取り組みを通じた農地の集積や経営規模拡大への支援等。
・農地の大区画化による作業効率の向上及び用排水路の分離、用水路のパイプライン化による維持管理労力の軽減。

Ⅳ 評価

●一次政策評価

・本事業での整備によって作業効率や生産性の向上、維持管理労力の軽減が図られているとともに、本地区内の担い手農地利用集積率は86.9%（事業実施前）から98.4%（事業完了後）に向上するなど、事業効果は十分に発現されている。

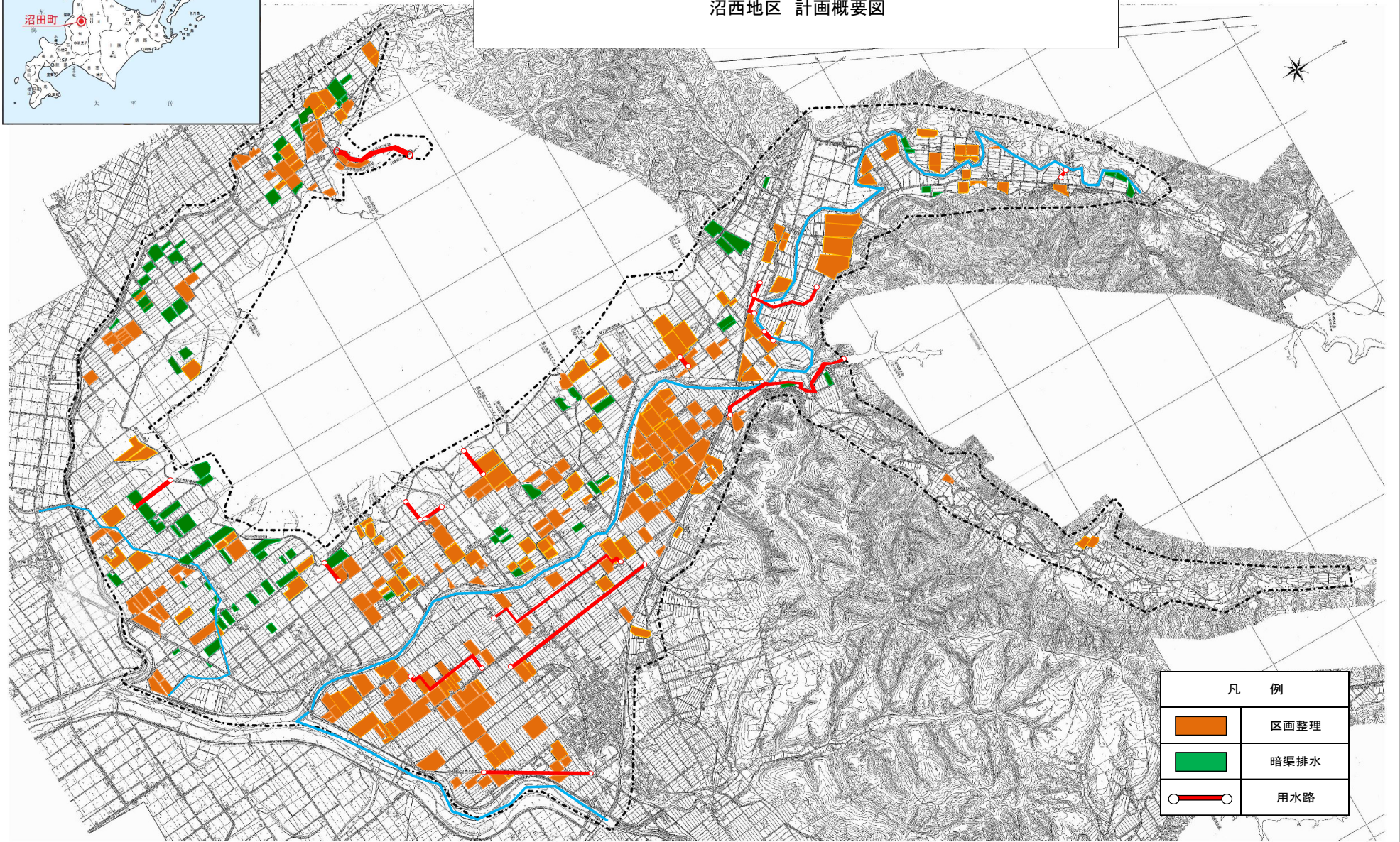
評価結果




a

a：効果が発現している b：効果が一部発現している c：効果の発現は見られない



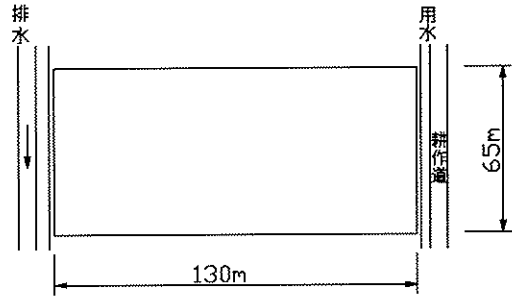
道営土地改良事業費 農地整備事業(経営体育成型)
沼西地区 計画概要図



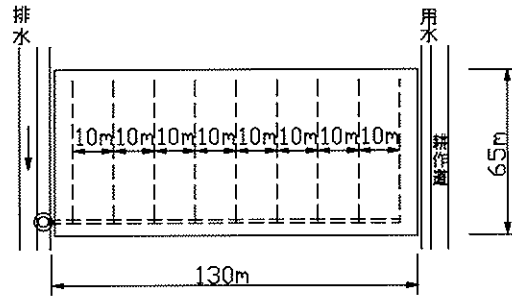
凡 例	
	区画整理
	暗渠排水
	用水路

標準構造図

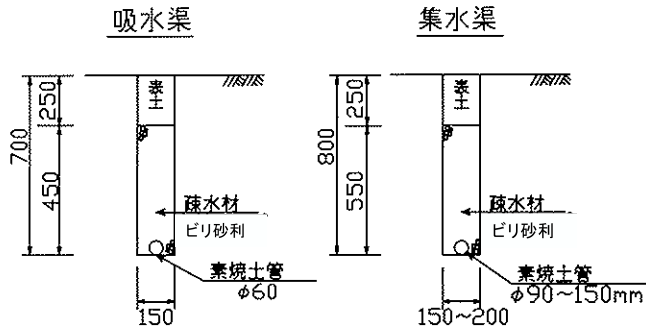
区画整理工標準区画



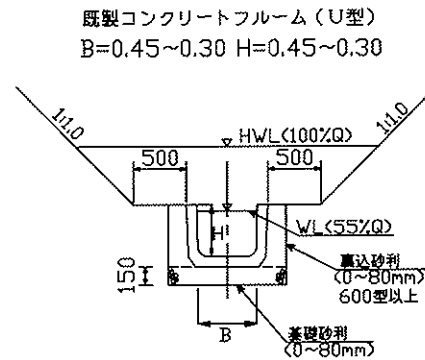
暗渠排水標準配線図



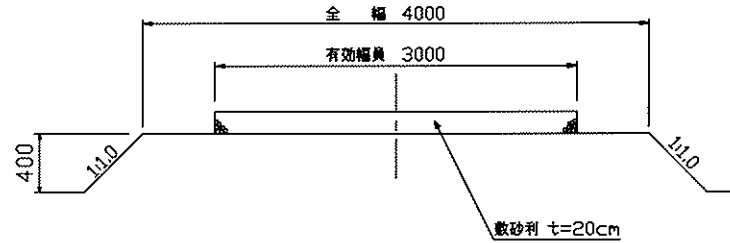
暗渠排水標準断面図



排水路工標準断面図

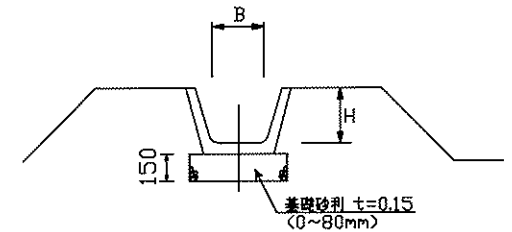


耕作道標準断面図



用水路標準定規図

既製コンクリートフルーム (V型)
B=0.30, H=30



用水路標準定規図

管水路

FRPM管 φ800~φ600
VU管 φ500~φ150

